

ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 Tel 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

稲越っ子 誇らしく

校長 吉田 直美



前日の強風と大雨がうそのように、当日の朝は青空が広がった土曜日。早朝からの様々な準備にご協力いただき、本当にありがとうございました。保護者の皆様、地域の皆様に支えられて運動会を実施することができました。

徒競走、偶然走、団体競技、応援合戦、紅白リレー、表現と、どの子も堂々と誇らしく、自分のありったけの力を発揮してくれました。感動しました。運動会前、「校長先生、運動会では何が楽しみ？」と5年生に聞かれ、「全部楽しみよ。とくに、みんなの全力、必死さを見ると泣いちゃうかも」と答えると「じゃあ、校長先生のこと泣かせちゃおう」と言ってくれました。決意を感じて、うれしくなりました。

応援団の朝練習は7時30分過ぎから始まり、団員の大きな声や和太鼓をたたく音が、地域に響いていたと思います。眠っている乳幼児がいるご家庭や夜勤明けの今まさに就寝しようとする方々には、大変なご迷惑をおかけいたしました。ありがたいことに、音に対する学校への苦情を直接いただくことはなく、子どもたちと指導者が精いっぱい練習に取り組むことができました。たまたま近隣の方とお話しする機会があり、大きな音でご迷惑をおかけしていると詫びると、「いえいえ、今は大人になったうちの子も稲越小学校卒業なんです。気になりませんのでご心配なく」と、おっしゃってくださいました。きっと、我慢してくださっていた方々もいらっしゃると思います。「学校だから音が出て当たり前」と決して甘えることなく、地域の一員として皆様とともに意識共有しながら教育活動を進めてまいります。



6月の主な行事予定

- | | |
|---|----------------------|
| 1日(水) 5・6年委員会活動 | 20日(月) 水泳指導開始 |
| 6日(月) 全校朝会 | 22日(水) 新体力テスト(1・2校時) |
| 8日(水) 定例研(13時20分下校) | 24日(金) 授業参観(5校時) |
| 11日(土) 須和田の丘支援学校運動会
(本校会場) | 29日(水) 4・5・6年クラブ活動 |
| 13日(月) 不審者対応訓練 | |
| 14日(火) プール清掃 | |
| 15日(水) 県民の日(児童は休業日) | |
| 17日(金) 4・5年グリーンスクール説明会
(YouTubeにて24日(金)まで) | |



水泳学習を復活します

コロナ禍において2年間中止となっていた水泳学習を、今年は6月20日より実施いたします。水泳学習の目的は「水辺及び水中で自分の命を守ることでできる力の育成」です。学習予定回数は4回、そのうち1回は着衣水泳となります。1～3年生は、学校のプール使用が初めてとなります。そこで、各学年に応じた泳力を身につける前に、「水に慣れる」「水に親しむ」ことを重点的に行うとともに、ノーマスクでの学習となることから密を避ける新たな学習方法を構築し、子どもたちの安全管理を徹底して取り組みます。また、子どもたち自身が感染防止にかかる学習の約束をしっかり守るよう、指導していきます。

そのため、子どもたちが約束を守れず、感染リスクを懸念する学習状況となった場合は、授業の中断もやむを得ないと考えております。この点におきまして、保護者の方のご理解をいただきますよう、お願いいたします。

「ど根性ひまわり」が芽を出しました

稲越小学校敷地内の某場所に蒔いた、通称「ど根性ひまわり」が芽を出しました。これは、東日本大震災後、がれきの間から芽を出し、見事に開花したひまわりの子孫の種です。市内他校の校長先生から50粒ほど分けていただいたものです。看板を製作しました。看板は6月6日（月）の全校朝会で披露し、このひまわりの経緯とともに子どもたちに伝え、その後花壇のそばに設置いたします。ぜひ、稲越小学校のどこにあるか、探してみてください。



不祥事防止 研修実施

6月1日（水）教職員対象に不祥事防止研修を実施します。今までも職員会議等で校内研修を実施してきておりますが、今回は市川市教育委員会義務教育課職員の協力をいただき、パウハラ・体罰に特化した研修とします。

子どもたちの笑顔と保護者及び地域の皆様の信頼を損なうことの無いよう、切実感と当事者意識を常に持ち続けてまいります。



先生と話そう月間

6月7日（火）～6月30日（木）を、「先生と話そう月間」として、担任と子どもたちが1対1で話す時間を設けます。朝学習の15分間を活用し、一日2人程度、教室に近い別室で行います。その間、学級の子供たちは通常通り朝学習を行い、担任以外の教職員が巡回します。

過去に、この期間中、子どもが担任に自分の困っていることを話したことで、すぐに担任が解決に向かう行動に移し、時間はかかったものの、子どもの困り感が解消したケースもあります。

担任にとっては、子どもとのより深い信頼関係を構築する機会でもあり、大変貴重な時間と捉えています。

おそらく、担任から子どもたちへ「明日は〇〇さんと●●さんです」と知らせてくれると思いますので、「こんなことも話してみたら?」「今日はどんな話ができたのかな?」と尋ねてみてください。